

単元構想シート

Z 中学校 第 2 学年 国語 科 単元名「 短歌を読んで、鑑賞文を書く 」 全 6 時間

単元目標 (育成したい資質・能力)	(知識及び技能)○抽象的な概念の語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(1)エ (思考力、判断力、表現力等)◎読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを を広げたり深めたりすることができる。C(1)オ (学びに向かう力、人間性等)○言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言 語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
----------------------	--

言語活動	わたしは短歌をこう読んだ！みんなの鑑賞文集
------	-----------------------

単元の流れ ○主な学習活動 □指導上の留意点	○「読み解く力」を育成するための手立て	「読み解く力」の育成に重点を置いた目指す児童生徒の姿	
		A：文章・グラフ・図から	B：やりとりから
<p>第一次〔第1時〕</p> <p>①「短歌の鑑賞文を書く」ことが単元のゴールだと知る。</p> <p>②「その短歌を知らない人に、自分の考えが伝わるように書く」ことが目標だと知る。</p> <p>□授業者が見本を示し、「短歌の鑑賞文を書く」ことに対する目的意識と見通しをもって、学習に取り組みようにする。</p> <p>③鑑賞文を書くときの、個人の目標を考える。</p> <p>□個人の目標が立てにくい生徒に対しては、選べるように選択肢を用意しておく。</p> <p>第二次〔第2時〕</p> <p>⑤短歌に使われている特別な読み方や、歴史的仮名遣いの読み方を考える。</p> <p>⑥全ての短歌を音読し、句切れを考える。</p> <p>□句切れが探しやすいように、短歌の定型と音数の数え方を全体で共有する。</p> <p>⑦全ての短歌の内容を自分なりに考え、鑑賞文を書く短歌を決める。</p> <p>〔第3時〕</p> <p>⑧選んだ短歌に使われている単語の意味や内容、作者について調べる。</p> <p>⑨短歌の内容を概ね理解してから、作者の思いを想像する。</p> <p>〔第4時〕</p> <p>⑩同じ短歌を選んだ人(4~6人)と、⑧と⑨を交流する。</p> <p>⑪短歌の内容や作者の思いに対する自分の考えを書く。</p> <p>□鑑賞文を書くときのポイントを想起させる。</p> <p>⑫同じ短歌を選んだ人と、⑪を交流する。</p> <p>⑬鑑賞文を書くために集めた情報を班で交流(分析・整理)して、鑑賞文を書く。</p> <p>□手直しがしやすいようにタブレットに入力する。</p> <p>第三次〔第5時〕</p> <p>⑭違う短歌を選んだ人と鑑賞文を交流し、アドバイスをし合う。</p> <p>□あとで反映しやすいように、鑑賞文のすぐ横に付箋でアドバイスを貼る形式をとる。</p> <p>□その人の「考え」と「根拠」が書かれているかの視点で、他の人の鑑賞文を読むようにする。</p> <p>〔第6時〕</p> <p>⑮鑑賞文を読み合い、さまざまな短歌を味わう。</p> <p>⑯単元での学習を振り返る。</p>	<p>①「目的意識をもつ」場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のゴールイメージをもてるように、授業者がモデルを提示する。 <p>①「発見・蓄積」の場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べて分かったことや、自分の考え、他の人の考えといった、鑑賞文を書くための情報を、項目ごとに整理できるようなワークシートにする。 ・同じ短歌を選んだ人と交流することによって、鑑賞文を書くための材料を集めやすくする。 <p>②「分析・整理」の場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・違う短歌を選んだ生徒同士で短歌を読み合い、その短歌を初めて読む人にもわかりやすい鑑賞文になっているか、アドバイスし合えるようにする。 ・考えの根拠を示せているかを自らチェックする活動を入れる。 <p>③「再構築」の場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスを踏まえて、自分の鑑賞文を再度整える場面を設定する。 ・単元のまとめを通して、短歌について学んだことや、自分と他の人の考え方を比較して考えたことの整理をする。 <p>◇評価の視点</p> <p>◇短歌を引用しながら、理解した内容を解説している。</p> <p>◇理解した内容に対して、自分の考えをもっている。</p> <p>◇考えの根拠として、自分の知識や経験を結び付けている。</p>	<p>①文章や資料等から、目的に応じて情報を取り出す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短歌に使われている意味の分からない言葉を調べている。 ・短歌の中の表現を引用し、内容を考えている。 ・作者の思いを想像している。 ・内容に対する自分の考えを表現している。 ・作者に関する情報(生い立ちなど)を調べている。 <p>②様々な情報を比較し、目的に応じて分析したり、整理したりする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞文を書くために収集した情報の中から、どの情報を、どの順番で、どれくらいの文量のバランスで表現するかを考えている。 <p>③解釈した内容を経験や知識と結び付けながら考えを深めたり、創造したりする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選んだ短歌の感想を、必要に応じて修正し、自分の知識や経験と結び付けて表現している。 	<p>①相手の言葉、しぐさ、表情をもとに相手の思いを感じ取る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ短歌を選んだ人と、短歌の内容や、作者の思いに関する他の人の考えを理解している。 <p>②相手の思いや意図を自分の考えや経験と比較しながら整理する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・違う短歌を選んだ人と鑑賞文を交流し、もらったアドバイスを自分の鑑賞文に生かそうとしている。 ・違う短歌を選んだ人の鑑賞文を読み、自分の鑑賞文に生かせる工夫を見つけようとしている。 <p>③やりとりを通して、相手の思いや意図を踏まえながら、自分の考えを確かなものにし、創造したりする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の人のさまざまな鑑賞文を読み合うことを通して、自分の考え方との共通点や相違点を見出し、考えを広げたり深めたりしている。